

ヒヤリ・ハット事例の収集について

1 趣旨・目的

港湾における重篤な災害の撲滅を実現するには荷役作業の現場の危険の芽を摘み取ることが重要であることから、その方策として、多くの会員事業場においてはヒヤリ・ハット事例を把握して再発防止対策を実施する取り組みが行われているところであり、このような活動の一層の充実を支援するため、港湾労災防止協会としては、会員事業場の協力を得てヒヤリ・ハット事例の収集と情報の共有化を図る事業を推進することとする。

2 ヒヤリ・ハット事例の収集

(収集方法)

ヒヤリ・ハット事例調査票を会員事業場に配布するとともに、ホームページに掲載し、事業場が把握したヒヤリ・ハット事例の中で、再発防止対策が講じられ、会員の間で情報を共有することが適切と考えられるものについて概要の記入をお願いする。

(収集内容)

作業の種類、ヒヤリ・ハット体験者の年齢・経験年数、起きた状況と内容、災害となった場合の事故の型、考えられる原因、再発防止対策等

3 ヒヤリ・ハット事例の情報の共有化

収集したヒヤリ・ハット事例をもとに事例集・データベースを作成し、協会機関誌や協会ホームページを活用して会員事業場への情報提供を行う。